

## 感染症の予防のための情報提供について

病名	腸管出血性大腸菌感染症（型不明）																										
年齢及び性別	10歳未満・男性	職業	保育園児																								
住所	桑名市																										
発病年月日	令和6年7月1日																										
診断年月日	令和6年7月6日																										
<p>（患者発生の経過）</p> <p>7月1日 下痢、発熱の症状がみられた。</p> <p>7月2日 下痢、血便、倦怠感がみられたため、桑名市内の医療機関を受診した。</p> <p>7月6日 7月2日の検査から腸管出血性大腸菌感染症と診断された。</p> <p>現在、患者に症状はありません。</p>																											
<p>【防疫措置】 接触者の健康状況調査及び検便の実施（桑名保健所）</p>																											
<p>【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年</th> <th>2021年</th> <th>2022年</th> <th>2023年</th> <th>2024年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者</td> <td>22</td> <td>26</td> <td>29</td> <td>34</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>保菌者</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計(感染者)</td> <td>35</td> <td>37</td> <td>52</td> <td>57</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2024年1月1日～2024年7月9日現在まで本件含む                  2024年内訳 患者：O157（5人）O103（2人）型不明（3人）                  保菌者：O157（2人）O26（1人）O146（1人）</p>					2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	患者	22	26	29	34	10	保菌者	13	11	23	23	4	計(感染者)	35	37	52	57	14
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年																						
患者	22	26	29	34	10																						
保菌者	13	11	23	23	4																						
計(感染者)	35	37	52	57	14																						
<p>【自分でできる対策】</p> <p>1 予防の3原則</p> <p>① 加熱（菌を殺す）                  この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。                  肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。                  ひき肉は、十分に加熱をしましょう。                  焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。                  井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。</p> <p>② 迅速・冷却（菌を増やさない）                  調理した食品はすぐに食べましょう。                  冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。</p> <p>③ 清潔（菌をつけない）                  手指や調理器具は十分に洗いましょう。</p> <p>2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。</p> <p>3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。</p>																											